

マイナ保険証トラブル続出 命にかかわる重大問題／従来の保険証廃止撤回求めよ

9月26日の一般質問で大沢綾子県議は、国が強行しようとしている、健康保険証廃止とマイナンバーカードへの一本化について取り上げました。

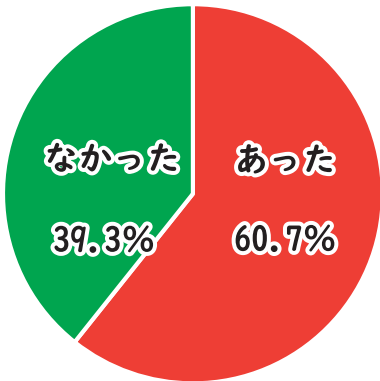
大沢県議は、県保険医協会が調査した県内でのトラブル（表）や医療従事者の声を示しながら、「県民の命と健康にかかわる重大な問題だ」と指摘し、知事の考えを問いました。

山本知事は、「国には懸念や不安を払拭する取り組みを進めてもらい、ブレずにやりとげてほしい」と答弁。大沢県議は、「県内7割の市町村長からも延期を求める声があがっている。県内医療者の声、県民の声を国に伝え、従来の保険証の廃止撤回を働きかけるべきだ」と求めました。

県内におけるマイナンバー保険証のトラブル等

群馬県保険医協会調べ（2023年5月30日～6月14日、8月2日～8月31日）

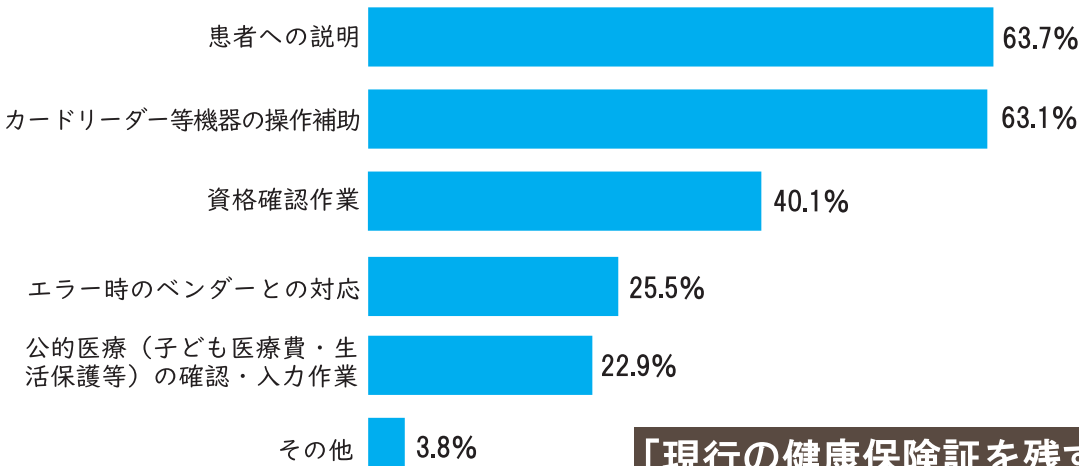
【トラブルの有無】



トラブルの事例

- 資格のある患者さんなのに無資格とされた
- 退職しているのに、保険証が有効になっていた
- 顔認証ができなかった
- 1人に複数のひもづけがある
- 本人ではなく家族の情報が出てきた
- データがない、資格取得日が違う、氏名が入っていない
- 発熱外来を駐車場で行い、保険証の確認ができない。電話対応でも内容確認ができない。

【マイナ保険証利用患者への対応で新たに増えた受付業務】



「現行の健康保険証を残す必要がある」
89.8%